

農林業の振興

下閉伊北地域農用地整備事業で整備されている農地の有効活用と專業農家の育成を図り、造成地や既存農地も含め、地域生産、地域消費を目指した総合経営農業を広域農協と連携して推進してまいります。

さらに、県営農地開発事業により整備された農地利用につきましても、専門機関などの指導をいただきながら取り組んでおりますが、遊休農地化に歯止めがかからない状況にあります。今後とも一層土づくりと併せ、営農対策に取り組みでまいります。

近年、新しく区画整備された、茂市、芦渡、鳥居地区で雑穀栽培に取り組んだ農家が、予想以上の成果を得ることができました。また、遊休農地を求め村外の公社などからの借地の申し入れも聞こえております。

一般公共事業削減が進んできている中で、村内建設事業者にも農業部門を導入される会社も見られる中

で、雑穀栽培なども今後の農業振興に取り入れることなどを検討してまいりたいと考えております。

林業は、従来の木材による林業経営の先行きは不透明であり、明るい兆しは見えてきませんが椎茸など特用林産物の生産拡大に望みを寄せ、産地情報の発信を強化してまいります。意欲ある農林業の担い手に対して、経営、生産対策などの支援を実施し産地力の強化に努めてまいります。

本村は地理的な自然環境や資源にも恵まれ椎茸栽培は有利と考えられております。近年における本村の椎茸栽培では高品質の原木椎茸が生産され、肉厚で食味もよく高い評価が得られております。平成17年度は、農林水産大臣賞、



肉厚で食味もよく高い評価を受けている普代産椎茸

林野庁長官賞と栄えある賞を受賞するなど生産意欲の向上も図られております。

商工業の振興

広域消費生活が活発化し、大型店進出に伴い小型店の存続が困難をきたす中

脆弱で新たな掘り起こしもできないことから、既存市場産業の支援と新たな加工事業の推進を図るとともに、地域産業の活性化につながる企業誘致にも引き続き努力してまいります。

観光・グリーンツーリズムの振興

魅力あるグリーンツーリズムの推進を図るため、地域資源の掘り起こしや商品化を支援するとともに、地域住民との交流や地域イベントなどに参加することのできる体験・交流型の観光プログラムの開発を促進します。

昨年は、岩手県立大学生によるモニターツアーの実施や、岩手大学地域連携推進センターとの交流を通して、外から村を見ていただき、有益な提言などを賜っております。

今後も村の観光・グリーンツーリズムの振興へ成果は得られるものと確信し、引き続き関係機関との連携を図ってまいりたいと考えております。

休養施設の経営改善の方針

国民宿舎「くろさき荘」につきましても、依然として厳しい経営環境にある中、昨年4月から民間へ的一部業務委託による運営改善に取り組んでおります。

民間的経営手法の導入による収益増加と事務事業費の削減などで、累積債務を少しでも縮減するよう努力するとともに、今年度も引き続き、民間委託で経営改善に努めてまいります。

海の家「まついそ」につきましても、国民宿舎「くろさき荘」同様、民間へ的一部業務委託方式による運営改善に取り組み、経営の健全化に努めてまいります。

緑の村につきましても、昨年度から直営方式に変わりましたが、単年度収支は健全経営となっておりません。今年度も引き続きくろさき荘、まついそと連携を図りながら、観光客などのアウトドア志向に対応した経営に努めてまいります。

(次ページに続く)